

吉村 耕一 YOSHIMURA Koichi



研究分野：医学

キーワード：大動脈瘤、治療法開発

研究トピックス：

大動脈瘤の病態解明と新規治療法の開発

研究の要旨：

大動脈瘤は高齢者に多い致死性疾患です。大動脈瘤は慢性炎症によって大動脈壁の組織が壊され、脆弱化することで発症し進行します。現在の治療法は外科手術に限られるので、薬による新たな治療の開発が切望されています。

私共は、JNK や FAK と呼ばれる細胞内分子が大動脈瘤の進行の鍵であることを発見しました。さらに、JNK や FAK の阻害薬が大動脈瘤に治療効果があることを実験的に明らかにしました。

これらの研究成果を治療法の開発とその実用化に繋がたいと考えています。

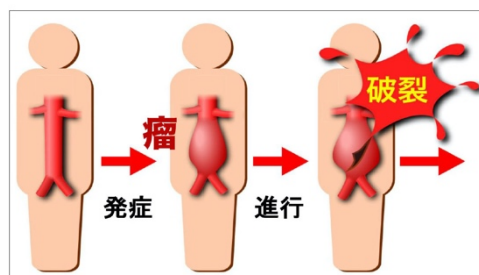


図1 大動脈瘤は破裂死を来します

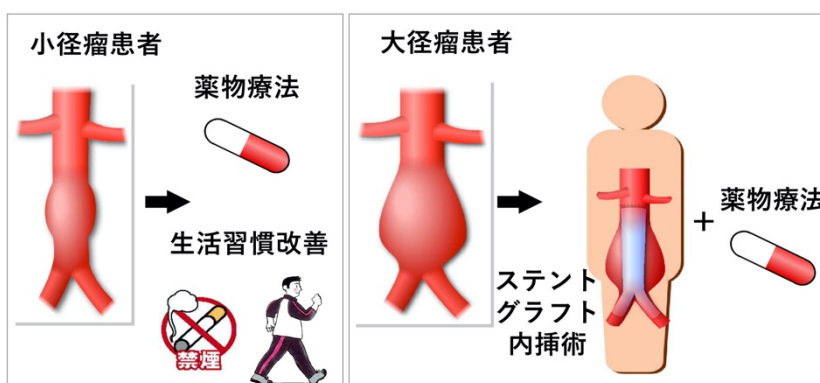


図2 大動脈瘤を薬物で治療することを目指しています

主な関連業績：

Yoshimura K, et al. Current Status and Perspectives on Pharmacologic Therapy for Abdominal Aortic Aneurysm. *Curr Drug Targets*, 19: 1265-1275, 2018.

Sakalihan N, Yoshimura K, et al. Abdominal aortic aneurysms. *Nature Rev Dis Primers*, 4: 34, 2018.

Harada T, Yoshimura K, et al. Focal Adhesion Kinase Promotes the Progression of Aortic Aneurysm by Modulating Macrophage Behavior. *Arterioscler Thromb Vasc Biol*, 37: 156-165, 2017.

[教員紹介へのリンク](#)

[教員データベースへのリンク](#)